

2025年度

国際学術研究科 国際学術専攻

学生募集要項

IV期入試

[学位プログラム制]

博士前期課程	
学位プログラム名	学位
言語教育実践研究学位プログラム	修士（言語教育）
心理学実践研究学位プログラム（ポジティブ心理分野）※	修士（心理学）
経営学学位プログラム	修士（経営学）
大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム（通信教育課程）	修士（大学アドミニストレーション）
老年学学位プログラム	修士（老年学）

博士後期課程	
学位プログラム名	学位
国際学術研究学位プログラム（経営学研究領域、心理学研究領域）	博士（学術）
老年学学位プログラム	博士（老年学）

※次の分野は2025年9月入学者選抜（IV期入試）を実施いたしません。

心理学実践研究学位プログラム（臨床心理分野、ポジティブ心理分野（公認心理師資格コース））

※2026年4月入学者選抜の募集要項は6月以降公開予定です。

【重要】

この冊子の情報は2025年3月現在の情報に基づくもので、諸般の事情により変更になる場合があります。変更が生じた場合には、本学大学院サイトにて随時お知らせします。

この冊子は、出願時点で「日本国籍を有している、または日本の有効な在留カードを有している」受験生が使用するものです。それ以外の受験生は、「学生募集要項 日本以外の国・地域在住者」を確認してください。



桜美林大学 大学院
J. F. Oberlin University Graduate Division

桜美林大学大学院 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

輩出する学生像

桜美林学園の建学の精神である「キリスト教主義に基づくこと。そして語学を身につけた国際人を育成すること」を基本理念とし、各学位プログラムの特徴に沿って、専門及び実践を通して学問及び社会への貢献を目指す人物を育成します。

修士課程及び博士前期課程においては、それぞれの専門分野における精深な学識を修得し、当該専門分野における研究能力又は高度の専門性が求められる職業を担うために必要な卓越した能力が持てるように養成します。

博士後期課程においては、当該専門分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識が持てるように養成します。

求める入学者

本大学院は、桜美林学園の建学の精神に共感し、本大学院の特徴である連合型大学院である利点を活かし、これからの知識基盤社会に必要な多角的な視野と知識を有するために、学際的な研究や複合的な学びを主体的に進めることができる人材を求めます。

また、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人々と共同研究や実践現場での活動を積極的に図ることのできる人材を国や地域を問わず幅広く求めます。

入学までに身につけて欲しい能力と選抜方法

入学を希望する学生には、以下のことを身につけて入学してくることを求めます。

なお、選抜は、各学位プログラムの特性も踏まえた入学者選抜制度を通じて多角的に評価します。学位プログラムによって評価ポイントが異なることから個別の入学者受入れの方針を確認してください。

博士前期・修士課程においては、学士課程で求められた基礎的な能力及び専門や教養での知識や技能を修めていること。希望する学位プログラムにおいて、これまでの学びや経験を通して、自らや社会に対して問題や課題意識を持ち、深い探求心や課題解決に向けた強い意欲があること。さらに将来において、研究分野や高度な専門性を要する職業においてその能力を活かし社会に貢献する意思があること。

博士後期課程においては、博士前期・修士課程で求められた専門知識や技能と確かな研究実績を修めていること。

これに基づき、研究者として自立して創造的な研究活動を行う意欲があること、又は高度に専門的な研究や職業に従事するために必要な豊かな学識と幅広い視点での研究を志す意思があること。

*学位プログラム別のアドミッション・ポリシーは、本学大学院ホームページ（以下 URL または QR コード）から確認してください。



irin.ac.jp/academics/postgraduate/

出願から入学手続きまでの流れ

① 入試日程・出願書類等を確認する

② インターネット出願サイトにログインする

https://admissions-office.net/ja/portal/university_subjects/189

③ 志願者情報・出願書類等を登録する

④ 支払方法を選択し受験料を支払う

●コンビニエンスストアまたはクレジットカードを選択してください。

クレジットカードを選択した場合、上記③の登録完了と同時に支払いが完了となります。

●出願完了後の内容変更、及び受験料納入後の返還は一切できません。

⑤ 受験票発行後、受験票を出願サイトの個人ページから確認する

●受験票発行日より前に、受験票を閲覧・印刷することはできません。

⑥ 試験を受験する

●上記⑤で確認した受験番号を必ず手元に準備してください。

⑦ 合否を出願サイトの個人ページから確認する

●合格通知の郵送は行っておりません。

⑧ 振込依頼通知を確認し入学手続き（入学金・授業料等の納入）を行う

●振込用紙の郵送は行っておりません。

●入学手続き締切日後の手続きは一切受付しません。

⑨ 原本の提出が必要な出願書類を郵送する

●上記⑧の入金確認後、詳しく案内します。

[出願書類の郵送先]

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758

桜美林大学入学部

Office of Admission and Enrollment

J. F. Oberlin University

3758 Tokiwa-machi, Machida-shi, Tokyo, 194-0294 Japan

博士前期課程

① 研究科・専攻・学位プログラム・募集人員

研究科	専攻	学位プログラム	募集人員※1	
国際学術 研究科	国際学術 専攻	言語教育実践研究学位プログラム	210 人	(30 人程度)
		心理学実践研究学位プログラム（ポジティブ心理分野）		(20 人程度)
		経営学学位プログラム		(100 人程度)
		大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程)※2		(30 人程度)
		老年学学位プログラム		(30 人程度)

※1 募集人員は 2025 年度入学選抜（Ⅰ～Ⅳ期入試）のものであります。

ただし、心理学実践研究学位プログラム臨床心理分野、ポジティブ心理分野（公認心理師資格コース）は 2025 年度 9 月入学選抜（Ⅳ期入試）を実施しません。

※2 日本国籍・永住者・定住者以外の者の出願も可能ですが、在留資格における「留学」活動とは認められません。

スクーリング時の在留資格取得について本学では代行申請等はいりません。

② 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者または 2025 年 9 月 15 日までに該当する見込みのある者。

1. 大学を卒業した者
2. 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
3. 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者
5. 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校＊）を修了した者
＊http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/001.htm
6. 外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
（施行規則第 155 条第 1 項第 4 号の 2）
7. 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧＊）を修了した者
＊http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/002.htm
8. 旧制学校等を修了した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号第 1 号～第 4 号、昭和 30 年文部省告示第 39 号第 1 号）
9. 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者
（昭和 28 年文部省告示第 5 号第 5 号～第 12 号、昭和 30 年文部省告示第 39 号第 2 号）
10. 文部科学大臣の指定した者
11. 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
12. 本大学院において、「個別の入学資格審査」により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者
（詳細については、P.11 を確認してください。）

上記 12.「個別の入学資格審査」の対象者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者など、大学卒業資格を有していない者であり、本大学院に入学する際に 22 歳に達している者です。

なお、大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム（通信教育課程）を志望する者は、以下の要件を充足していれば、「個別の入学資格審査」の対象者となります。

- 出願時において教育機関に 4 年以上（常勤・非常勤は不問）の職務経験を持ち、2025 年 9 月 15 日までに 25 歳に達している者

各方式別の出願条件

〈経営学学位プログラム〉〈心理学実践研究学位プログラム〉〈老年学学位プログラム〉

選抜方式	出願条件
一般	日本国籍を有する者、または外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」の者。
外国人留学生 ^{※1}	外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」以外の者で、以下のいずれかの資格を有する者。 ・「日本語能力試験（JLPT）」N1：（独）国際交流基金、（公財）日本国際教育支援協会実施 ・「実用日本語検定（J.TEST）」で700点（準B級）以上：日本語検定協会・J.TEST事務局主催 ・「日本留学試験（EJU）」で、日本語科目「読解・聴読解・聴解」300点以上、及び「記述」33点以上 ・「JPT（日本語能力試験）」660点以上：一般社団法人 日本語能力試験実施委員会運営 ・「日本語 NAT-TEST」1級：専門教育出版 日本語 NAT-TEST 運営委員会実施 ・「J-CAT（Japanese Computerized Adaptive Test）」300点以上：一般社団法人日本語教育支援協会運営 ※各語学試験の有効期間は、各実施機関が定める有効期限に準ずる。 ※老年学学位プログラムにおいて、日本の4年制大学の卒業生（卒業見込みの者含む）は、上記語学資格を有していない場合においても「外国人留学生」として出願を認める。
社会人	日本国籍を有する者、または外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」の者で、出願時に3年以上の常勤での職務経験（職種を問わず）がある者。なお、志願する専攻分野にかかわる非常勤職の経験年数は、0.5を乗じて算入することができる。

※1 本学では合格者に対する在留資格認定証明書の代理申請は行いますが、ビザの代行申請等はいませんので予めご了承ください。

〈言語教育実践研究学位プログラム〉

選抜方式	出願条件
一般	日本国籍を有する者、または外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」の者。
外国人留学生 ^{※1}	外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」以外の者で、以下のいずれかの資格を有する者。 ・「日本語能力試験（JLPT）」N1：（独）国際交流基金、（公財）日本国際教育支援協会実施 ・「実用日本語検定（J.TEST）」で700点（準B級）以上：日本語検定協会・J.TEST事務局主催 ・「日本留学試験（EJU）」で、日本語科目「読解・聴読解・聴解」300点以上、及び「記述」33点以上 ・「JPT（日本語能力試験）」660点以上：一般社団法人 日本語能力試験実施委員会運営 ・「日本語 NAT-TEST」1級：専門教育出版 日本語 NAT-TEST 運営委員会実施 ・「J-CAT（Japanese Computerized Adaptive Test）」300点以上：一般社団法人日本語教育支援協会運営 ※各語学試験の有効期間は、各実施機関が定める有効期限に準ずる。
社会人	日本国籍を有する者、または外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」の者で、出願時に告示校または認定日本語教育機関において2年以上の勤務経験がある者（常勤・非常勤は問わない）。 ※在職証明書等を提出すること。

※1 本学では合格者に対する在留資格認定証明書の代理申請は行いますが、ビザの代行申請等はいませんので予めご了承ください。

〈大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム（通信教育課程）〉^{※2}

選抜方式	出願条件
一般	日本国籍を有する者、または外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」の者。
社会人	日本国籍を有する者、または外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」の者。 出願時に3年以上の常勤での職務経験（職種を問わず）を有する者。 なお、教育関係分野での非常勤職の経験年数は、0.5を乗じて算入することができる。
社会人推薦	日本国籍を有する者、または外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」の者。 教育関係機関に所属し、所属長から推薦書〔様式01〕が得られる者。 この場合、上記社会人選抜の勤務条件を満たさなくともよい。

※2 日本国籍・永住者・定住者以外の者の出願も可能ですが、在留資格における「留学」活動とは認められません。

スクーリング時の在留資格取得について本学では代行申請等はいません。

③ 入試日程 [博士前期課程 各学位プログラム]

		IV期
個別の入学資格審査申請期限 (該当者※1のみ)		2025年4月11日(金)
インターネット出願	出願登録	2025年5月9日(金)～5月16日(金)
	受験料支払期限	2025年5月16日(金)
受験票発行日		2025年5月29日(木) 15時から順次発行
事前接続テスト※2 (オンライン審査の受験者のみ対象、参加必須)		2025年6月3日(火)～6月4日(水) 各日9:00～17:00
試験日 (対面・オンライン共通)		2025年6月7日(土)
試験会場※3		オンライン審査: オンライン会議システム (Zoom) 対面審査: 桜美林大学 町田キャンパス
合格発表日		2025年6月13日(金) 合否照会は10時から可能
入学手続締切日		2025年6月20日(金)

※1 個別の入学資格審査については、P.11を参照してください。

※2 オンライン面接がある受験者のみ、試験当日と同じ受験環境（使用機器・ネットワーク環境・利用する部屋等）で、事前に動作確認を行います。
事前接続テストの期間で都合の良い時間に、指定されたURL（オンライン上の部屋）へ入室してください。
詳細は、出願時に登録いただいたメールアドレスに別途通知します。

※3 希望する学位プログラムや分野、選抜方式によって試験の方法（対面・オンライン）が異なります。
オンライン面接受験者は、試験当日にキャンパスへ来校する必要はありません。

④ 審査内容

学位プログラム	研究特域	選抜方式	試験内容・時間	試験会場
言語教育実践研究 学位プログラム	博士前期課程・ 日本語教員養成 大学院課程	一般 外国人留学生	①書類審査 ②オンライン面接(20分) ③口頭試問(20分) 試問ではオンライン会議システム (Zoom) 画面 共有機能で問題を提示する。うち自身の研究テ ーマや学びたい領域に関連の深い2問を選択 し、5分後に試問を行う。	オンライン
		社会人	①書類審査 ②オンライン面接(20分)	オンライン
心理学実践研究 学位プログラム	ポジティブ心理分野 (博士前期課程・ 専門健康心理士養成課程)	一般 外国人留学生	①書類審査 ②記述試験 (30分) ③面接 (20分)	町田キャンパス
		社会人	①書類審査 ②オンライン面接 (20分)	オンライン
経営学 学位プログラム	博士前期課程・ MBA 養成課程	一般 外国人留学生	①書類審査 ②面接 ③口頭試問 ②③ 計 30 分	町田キャンパス
		社会人	①書類審査 ②面接(20分)	町田キャンパス
大学アドミニス トレーション実践研究 学位プログラム (通信教育課程)	博士前期課程	一般 社会人	①書類審査 ②オンライン面接(20分)	オンライン
		社会人推薦	書類審査	-
老年学 学位プログラム	博士前期課程	一般 外国人留学生 社会人	①書類審査 ②オンライン面接(20分)	オンライン

* オンライン面接は、オンライン会議システム (Zoom) を利用して面接を行います。

⑤ 出願書類

出願期間内に以下の書類をそろえて、出願サイト「The Admissions Office（以下 TAO）」にて提出してください。

【注意】提出された各種証明書については、その発行機関（学校など）に対して照会を行う場合があります。

種類		形式	【提出上の注意】 注意事項をよく読み、書類を準備・作成してください。
1	志願者情報	TAO へ 直接入力 (一部アップロード)	「志願者情報」の各項目について、直接入力、該当箇所へアップロードしてください。 * 顔写真データ（正面、上半身、脱帽、背景無地）もアップロードしてください。アップロードできるファイル形式は、JPEG（拡張子「.JPG」「.jpeg」）と PNG（拡張子「.png」）です。 * 写真は入学後の学生証明写真として利用します。スナップ写真、画質の悪いもの、データ加工等は避けてください。
2	志望理由書	TAO へ 直接入力	志望する学位プログラムを選択し、直接入力してください。 (各学位プログラムで設問が異なります。) * 経営学学位プログラム 本学位プログラム、コース（分野含む）の志望理由について入力してください。(600 字以内) * 経営学学位プログラム以外 1. 入学を希望する学位プログラムの志望理由を入力してください。(400 字以内) 2. 学士課程時代に学んだこと、経験してきたことを踏まえて、希望する学位プログラムにおいて学びたいこと、問題意識などについて、その理由や背景も含めて具体的に入力してください。(600 字以内) 3. 大学院での学びや経験を通して、将来のキャリア設計に関する抱負について入力してください。(400 字以内) 4. 出願書類の作成にあたり参考にした図書、文献などがありましたらリストアップしてください。(600 字以内)
3	研究計画書	PDF (スキャンデータ)	「研究計画書」の該当箇所へ、PDF 化した書類をアップロードしてください。 * 以下の学位プログラムは提出必須となります（該当しない場合は提出自由）。 ・言語教育実践研究学位プログラム ・経営学学位プログラム ・老年学学位プログラム * 作成方法 言語教育実践研究学位プログラム 修士課程における 2 年間の研究について、テーマを明記したうえで、以下の点について 2,000 字程度で具体的に述べてください。 1. 内容 (a) 研究テーマを選んだ動機（問題意識） (b) 研究の目的と意義 (c) データの収集方法および手順（研究のためにはデータが必要です。 どこからどのようにデータを得るか、手順も含めて述べてください。） 2. 研究テーマを決めるにあたって参照した〈文献〉をあげてください。 注意事項： ・ A4 用紙 2 枚程度にまとめてください。(手書き不可) ・ 研究テーマと氏名をはじめに必ず書いてください。 ・ 上記 2 の〈文献〉は最後にまとめてあげてください。 * 作成方法 言語教育実践研究学位プログラム以外 インターネット出願の際に登録した「入学後の研究テーマ」について、先行研究、目的、方法、予測される結果等を具体的に記述してください。 ・ A4 判の用紙に、2～3 枚程度で作成してください。 ・ 表紙は付けず、冒頭に「研究計画書」と表記した上、研究テーマと氏名を明記してください。 ・ 上下左右の余白は 15mm 以上空け、下余白中央には、“ページ番号／総ページ数”を記入してください。
4	職務内容報告書 * 社会人選抜、社会人推薦選抜、または「個別の入学資格審査」の申請者のみ	PDF (スキャンデータ)	「職務内容報告書」の該当箇所へ、PDF 化した書類をアップロードしてください。 * 今日に至る職務内容（研究業績等を有する場合はそれを含む）を記述してください。 * A4 判の用紙で作成してください。 * 表紙は付けず、冒頭に「職務内容報告書」と表記した上、氏名を明記してください。上下左右の余白は 15mm 以上空け、下余白中央には、“ページ番号／総ページ数”を記入してください。
5	推薦書 [様式 01] * 社会人推薦選抜のみ	PDF (指定様式あり)	「推薦書」の該当箇所へ、PDF 化した書類をアップロードしてください。 * 職場の所属長による記入・押印したものを提出してください。
6	在職証明書等 * 言語教育実践研究学位プログラム「社会人選抜」の申請者のみ	PDF (スキャンデータ)	言語教育実践研究学位プログラム「社会人選抜」の申請者のみ提出してください。 告示校または認定日本語教育機関が発行した、2 年以上の勤務経験があることが証明できるもの（常勤・非常勤は問わない）。 「在職証明書等」の該当箇所へ、PDF 化した書類をアップロードしてください。

種類		形式	【提出上の注意】 注意事項をよく読み、書類を準備・作成してください。
7	日本語語学資格 証明書 ※外国人留学生選抜の該当者のみ	PDF (スキャンデータ)	「日本語語学資格証明書」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 *各語学試験の有効期間は各実施機関が定める有効期限に準じてください。 *スコア・級の基準については、P.3 各選抜方式別の出願条件を確認してください。
8	卒業・修了証明書または卒業・修了見込証明書	PDF (スキャンデータ)	「出身校証明書類」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 【区分1】香港、マカオ、台湾を除く中国大陆の大学卒業者は、卒業（見込）証明書の代わりに、中国教育部「中国高等教育学生信息网（学信網）」(http://www.chsi.com.cn) が発行した「教育部学历证书电子注册备案表（英語版）」（卒業見込の場合は「教育部学籍在线认证报告（英語版）」）を提出してください。 成績証明書は最終出身大学等の発行によるものを提出してください。
	成績証明書	PDF (スキャンデータ)	【区分2】上記以外の方は、出願資格にかかわる最終出身大学等の発行によるものを提出してください。 成績証明書に入学年月と修了（卒業）年月が明記されている場合は、修了（卒業）証明書の提出は不要です。 【注意】 合格後、入学までに証明書の原本、もしくは原本証明がなされた複写の提出が必要になります。 提出された書類が出願時にアップロードした書類と異なる場合、または提出できない場合は、入学許可を取り消します。原本は必ず保管しておいてください。 出願時に卒業・修了見込証明書を提出した者は、入学までに卒業・修了証明書の提出が必要になります。
	成績証明書、卒業・修了証明書等の日本語訳 ※該当者のみ	PDF (スキャンデータ)	日本語または英語以外の言語の成績証明書、卒業証明書等を提出する場合は、日本語訳（志願者自身による翻訳可）をPDF化してアップロードしてください。
9	個別の入学資格審査結果の写し ※該当者のみ	PDF (スキャンデータ)	「個別の入学資格審査結果」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。

外国籍の者は以下の書類も提出すること

10	住民票の写し	PDF (スキャンデータ)	「住民票の写し」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 *市・区役所等が発行する「住民票の写し」（在留情報を省略しないもの）を提出してください。 アップロードできるファイルの拡張子は.pdf です。ファイルサイズの上限は20MB です。
----	--------	------------------	--

外国籍の者（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）は以下の書類も提出すること

11	経費支弁書 〔様式 03〕	PDF (指定様式あり)	「経費支弁書」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。
12	日本語学校等の成績証明書	PDF (スキャンデータ)	「日本語学校・専門学校等証明書類」の該当箇所へ、PDF化した書類をアップロードしてください。 *日本国内の日本語学校・専門学校等に在籍、もしくは既卒の者は提出してください。 *出願時に日本の大学に学位取得を目的として在籍、もしくは既卒の場合、提出は不要です。 *在籍期間が短く、在籍校等の「成績証明書」が提出できない（成績が出ていない）場合は、「在籍証明書」を提出してください。

〈奨学金の申請者〉

学而事人・私費留学生奨学金を希望する者は、P.16、P.17 の申請資格を確認のうえ、申請書類も提出してください。

博士後期課程

① 研究科・専攻・学位プログラム・募集人員

研究科	専攻	学位プログラム		募集人員※
国際学術 研究科	国際学術 専攻	国際学術研究学位プログラム	経営学研究領域	15 人
			心理学研究領域	
		老年学学位プログラム		

※ 募集人員は 2025 年度入学者選抜（Ⅰ～Ⅳ期入試）のものです。

② 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者または 2025 年 9 月 15 日までに該当する見込みのある者で、
審査の対象となる修士論文（またはこれに変わる特定の課題についての研究成果）があること。

1. 修士の学位や専門職学位を有する者
2. 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
3. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
4. 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校*）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
* http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111317/001.htm
5. 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
6. 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者
7. 文部科学大臣が指定した者
8. 本大学院において、「個別の入学資格審査」により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、出願時に 24 歳に達した者（詳細につきましては P.11 を確認してください。）
* なお、医学・歯学・薬学・獣医学に関わる 6 年制の学部を卒業したことのみをもって、これを修士課程相当とし、博士後期課程の入学資格が認められるわけではありません。
9. 外国の学校、我が国において大学院の課程を有すると認定できる外国の教育施設及び国際連合大学の教育課程を履修し、専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに関連分野の基礎的素養を当該前期課程において修得又は涵養すべきものについての試験や、博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力を当該前期課程において修得すべきものについての審査に相当するものの合格により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

「出願資格 8」における「個別の入学資格審査」の対象者は、次の 2 つの要件をすべて満たした者です。

- ① 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校を卒業または修了後、本学各学位プログラムの関連分野での研究実績、あるいは高度な職務経験を有する者
- ② ①の研究実績や職務により取得した特許、著書、学術論文等において、修士の学位論文と同等以上の学術的価値が認められる実績が確認できる者

「出願資格 9」により出願する者は次の書類を提出してください。

- 出身大学長等が作成（署名）したもので、下記の内容が記載された様式、添付書類

【様式例】

□□大学としては、本学の学生である◇◇ ◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。

（外国語の場合は日本語訳を添付してください。）

【添付資料の例】

- ① 当該審査の合格の基準
- ② 当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料
- ③ 当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取り扱いの関係を示す資料

③ 事前相談（必須）

出願登録開始日前に希望する研究指導教員との「事前相談」を行ってください。

※万が一、事前相談を行わずに志願をされた場合は、志願を受け付けすることができませんので、ご了承ください。

詳細については、P.12 を確認してください。

④ 入試日程 [博士後期課程 国際学術研究学位プログラム/老年学学位プログラム]

		IV期
個別の入学資格審査 申請期限 (該当者※1のみ)		2025年4月11日(金)
インターネット出願	出願登録	2025年5月9日(金)～5月16日(金)
	受験料支払期限	2025年5月16日(金)
受験票発行日		2025年5月29日(木) 15時から順次発行
事前接続テスト※2 (オンライン審査の受験者のみ対象、参加必須)		2025年6月3日(火)～6月4日(水) 各日9:00～17:00
試験日 (対面・オンライン共通)		2025年6月7日(土)
試験会場※3		オンライン審査: オンライン会議システム (Zoom) 対面審査: 桜美林大学 町田キャンパス
合格発表日		2025年6月13日(金) 合否照会は10時から可能
入学手続締切日		2025年6月20日(金)

※1 個別の入学資格審査については、P.11 を参照してください。

※2 オンライン面接がある受験者のみ、試験当日と同じ受験環境(使用機器・ネットワーク環境・利用する部屋等)で、事前に動作確認を行います。

事前接続テストの期間で都合の良い時間に、指定された URL (オンライン上の部屋) へ入室してください。

老年学学位プログラム(博士後期)を受験する方は、別途試験実施方法について確認を行います。

詳細は、出願時に登録いただいたメールアドレスに別途通知します。

※3 希望する学位プログラムや分野、選抜方式によって試験の方法(対面・オンライン)が異なります。

オンライン面接受験者は、試験当日にキャンパスへ来校する必要はありません。

⑤ 審査内容

学位プログラム	研究特域		試験内容・時間割	試験会場
国際学術研究 学位プログラム	博士後期課程	経営学 研究領域	①書類審査 ②面接(40分)	町田キャンパス
		心理学 研究領域	①書類審査 ②専門外国語試験(50分) 辞書の利用は可とする。 ただし辞書機能を持つ携帯電話及び電子辞書等は不可。 ③面接(40分) *②は午前、③は午後に行う予定	町田キャンパス
老年学 学位プログラム	博士後期課程		①書類審査 ②オンライン専門外国語試験(30分) オンライン会議システム(Zoom)の画面共有機能を利用し、 欧文の学術論文の要約などを示し、その内容について和文で 記述を求める。辞書の利用は可とする。ただし辞書機能を持つ 携帯電話及び電子辞書等は不可。 ③オンライン面接(30分) *②は午前、③は午後に行う予定	オンライン

*オンライン面接は、オンライン会議システム(Zoom)を利用して面接を行います。

⑥ 出願書類

出願期間内に以下の書類をそろえて、出願サイト「The Admissions Office（以下 TAO）」にて提出してください。

【注意】提出された各種証明書については、その発行機関（学校など）に対して照会を行う場合があります。

種類		形式	【提出上の注意】 注意事項をよく読み、書類を準備・作成してください。
1	志願者情報	TAO へ 直接入力 (一部アップロード)	「志願者情報」の各項目について、直接入力、該当箇所へアップロードしてください。 * 顔写真データ（正面、上半身、脱帽、背景無地）もアップロードしてください。アップロードできるファイル形式は、JPEG（拡張子「.JPG」「.jpeg」）と PNG（拡張子「.png」）です。 * 写真は入学後の学生証明写真として利用します。スナップ写真、画質の悪いもの、データ加工等は避けてください。
2	志望理由書	TAO へ 直接入力	志望する学位プログラムを選択し、志望理由について 600 字以内で直接入力してください。 * 研究指導を希望する教員名を必ず記入してください。
3	研究計画書	PDF (スキャンデータ)	「研究計画書」の該当箇所へ、PDF 化した書類をアップロードしてください。 * インターネット出願の際に登録した「入学後の研究テーマ」について、先行研究、目的、方法、予測される結果等を具体的に記述してください。 * A4 判の用紙に、2～3 枚程度で作成してください。 * 表紙は付けず、冒頭に「研究計画書」と表記の上、研究テーマと氏名を明記してください。 上下左右の余白は 15mm 以上空け、下余白中央には、「ページ番号／総ページ数」を記入してください。
4	修士論文（またはこれに代わる研究報告書）	PDF (スキャンデータ)	「修士論文」の該当箇所へ、PDF 化した書類をアップロードしてください。
	修士論文（またはこれに代わる研究報告書）の要旨と目次	PDF (スキャンデータ)	* 要旨の他に目次も付してください。 * A4 判の用紙に 1000～2000 字程度で作成してください。上下左右の余白は 15mm 以上空け、下余白中央には、「ページ番号／総ページ数」を記入し、目次を付けてください。
5	志願者評価書 [様式 02]	PDF (指定様式あり)	「志願者評価書」の該当箇所へ、PDF 化した書類をアップロードしてください。 * 出身大学院の指導教員等に作成を依頼し、提出してください。
6	成績証明書	PDF (スキャンデータ)	「出身校証明書類」の該当箇所へ、PDF 化した書類をアップロードしてください。 * 出願資格にかかわる最終出身大学等の発行によるものを提出してください。 * 成績証明書に入学年月と修了（卒業）年月が明記されている場合は、修了（卒業）証明書の提出は不要です。
	卒業・修了証明書または卒業・修了見込証明書	PDF (スキャンデータ)	【注意】 合格後、入学までに証明書の原本、もしくは原本証明がなされた複写の提出が必要になります。 提出された書類が出願時にアップロードした書類と異なる場合、または提出できない場合は、入学許可を取り消します。原本は必ず保管しておいてください。 出願時に卒業・修了見込証明書を提出した者は、入学までに卒業・修了証明書の提出が必要になります。
	成績証明書、卒業・修了証明書等の日本語訳 ※該当者のみ	PDF (スキャンデータ)	日本語または英語以外の言語の成績証明書、卒業証明書等を提出する場合は、日本語訳（志願者自身による翻訳可）を PDF 化してアップロードしてください。
7	個別の入学資格審査結果の写し ※該当者のみ	PDF (スキャンデータ)	「個別の入学資格審査結果」の該当箇所へ、PDF 化した書類をアップロードしてください。

外国籍の者

8	住民票の写し	PDF (スキャンデータ)	「住民票の写し」の該当箇所へ、PDF 化した書類をアップロードしてください。 * 市・区役所等が発行する「住民票の写し」（在留情報を省略しないもの）を提出してください。 アップロードできるファイルの拡張子は.pdf です。ファイルサイズの上限は 20MB です。
---	--------	------------------	---

外国籍の者（日本の在留資格「永住者」「定住者」を除く）

9	経費支弁書 [様式 03]	PDF (指定様式あり)	「経費支弁書」の該当箇所へ、PDF 化した書類をアップロードしてください。
10	日本語学校等の成績証明書	PDF (スキャンデータ)	「日本語学校・専門学校等証明書類」の該当箇所へ、PDF 化した書類をアップロードしてください。 * 日本国内の日本語学校・専門学校等に在籍、もしくは既卒の者は提出してください。 * 出願時に日本の大学に学位取得を目的として在籍、もしくは既卒の場合、提出は不要です。 * 在籍期間が短く、在籍校等の「成績証明書」が提出できない（成績が出ていない）場合は、「在籍証明書」を提出してください。

〈奨学金の申請者〉

私費留学生奨学金を希望する者は、P.17 の申請資格を確認のうえ、申請書類も提出してください。

個別の入学資格審査

個別の入学資格審査について

「個別の入学資格審査」は、入学者選抜試験を免除するものではなく、出願資格の有無を判定するものです。判定の結果、「出願資格有」と認定された後は、各選抜方式別の出願条件を満たしていることを確認のうえ、定められた出願期間内に所定の書類を提出し、入学者選抜試験を受験する必要があります。また、本学の「個別の入学資格審査」の結果は、本大学院の該当する入学試験にのみ効力が及ぶものです。下記の申請条件を満たしていない、または申請書類が不足している場合は受理できませんので注意してください。

■個別の入学資格審査の対象となる者

● 博士前期課程

次の1.および2.に該当する者。

1. 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者など、大学卒業資格を有していない者であり、本大学院に入学する際に22歳に達している者。
2. 短期大学、高等専門学校や3年制大学等の他に、1年以上の学歴や職歴（インターンやアルバイト除く）・研究業績等がある者。ただし、ここで言う他の学歴に日本語学校等の語学学校は含みません。外国籍で日本の在留資格が「留学」の期間については、職歴としてカウントされません。

* 大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム（通信教育課程）を希望する者は、以下の要件を充足していれば、「個別の入学資格審査」の対象となります。

出願時において教育機関に4年以上(常勤・非常勤は不問)の職務経験を持ち、2025年9月15日までに25歳に達している者

● 博士後期課程

1. 短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校を卒業または修了後、本学各学位プログラムの関連分野での研究実績、あるいは高度な職務経験を有する者
2. 上記1.の研究業績や職務により取得した特許、著書、学術論文などにおいて、修士の学位論文と同等以上の学術的価値が認められる実績が確認できる者

■申請期限（全ての必要書類は申請期限必着）

IV期入試志願者：2025年4月11日（金）

個別の入学資格審査の結果は、メールにて出願開始日の2週間前までに通知します。

同審査の結果、「出願資格有」と認定された場合、本学大学院の2025年度入学者選抜IV期入試に出願することが可能です。定められた出願期間内に、インターネット出願の登録および受験料の支払いをしてください。

■申請方法

本学HPの大学院ページから「個別の入学資格審査申請書」をダウンロードし、必要事項を入力後、その他の必要書類とともに申請期限までにメールで送付してください。

[送付先] admssn2@obirin.ac.jp [件名] 大学院 個別の入学資格審査申請（申請者のカナ氏名）

[必要書類]

① 個別の入学資格審査申請書

② 最終学歴出身校の卒業証明書（修了証明書）

* 中国大陸の学校の卒業者は、上記卒業証明書の代わりに、中国教育部「中国高等教育学生信息网（学信網）」が発行した「教育部学历证书电子注册备案表（英語版）」或は「教育部学籍在线验证报告（英語版）」を提出してください。

③ 短期大学、高等専門学校や3年制大学等の他に、学歴や職歴・研究業績等があることを説明（立証）する資料

* 学歴の場合：在籍（修了）証明書

* 職歴の場合：職務内容報告書

現在に至る職務内容（成果・研究業績・感想・改善点等があれば含む）を記述してください（A4 1～2枚程度・書式自由）。

④ 希望の学位プログラムにおける研究計画書（A4 2～3枚程度・書式自由）

⑤ 住民票（日本在住の外国籍者のみ提出してください）

⑥ 外国籍を有し在留資格が「永住者」「定住者」以外の方は、以下のいずれかの語学資格証明書を提出してください。

・「日本語能力試験（JLPT）」N1：（独）国際交流基金、（公財）日本国際教育支援協会実施

・「実用日本語検定（J.TEST）」で700点（準B級）以上：日本語検定協会・J.TEST事務局主催

・「日本留学試験（EJU）」で、日本語科目「読解・聴読解・聴解」300点以上、及び「記述」33点以上

・「JPT（日本語能力試験）」660点以上：一般社団法人 日本語能力試験実施委員会運営

・「日本語 NAT-TEST」1級：専門教育出版 日本語 NAT-TEST 運営委員会実施

・「J-CAT (Japanese Computerized Adaptive Test)」300点以上：一般社団法人日本語教育支援協会運営

* 各語学試験の有効期間は、各実施機関が定める有効期限に準ずる。

出願～入学手続／学納金

① 出願上の注意

- ・ 受験時および修学時に特別な配慮・支援を要する志願者は、事前に相談してください。希望される方は、受験生サイト（本学Webサイト）より申請書をダウンロードのうえ、必要事項を記入し、桜美林大学大学院 入学部宛にメールまたは郵送にて送付してください。書類を確認次第、大学より事前相談の日程等に関する連絡を差し上げます。

〈提出期限〉

IV期入試：4月18日（金）

〈提出先〉

メール:info-ctr@obirin.ac.jp 郵送:〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 桜美林大学 入学部大学院担当

ご質問、ご不明点がありましたら入学部インフォメーションセンター（TEL:042-797-1583）まで連絡してください。

- ・ 出願書類に不備があるものは受け付けることができません。
- ・ 出願書類提出後に志望学位プログラム・選抜方式等の変更はできません。出願前に間違いがないか必ず確認してください。

② 事前相談について

出願前に希望する研究指導教員との「事前相談」を行うことができます。

※博士後期課程を志願する場合は、事前相談を必須としていますので、出願登録開始日の1週間前までに申し込みをしてください。万が一、事前相談を行わずに志願をされた場合は、志願を受け付けすることができませんので、ご了承ください。

■ 目的

事前相談は、本学大学院の受験を検討するにあたり、研究テーマが希望する研究指導教員の指導可能なテーマであるかどうかを確認するために行われるものです。

■ 注意点（必ず確認してください）

事前相談の有無や相談内容によって、入試の可否に影響することはありません。また、研究計画書作成の助言や、入試の内容に関する事などは回答できません。

■ 申込方法

本学大学院サイト「事前相談」（<https://www.obirin.ac.jp/academics/postgraduate/entrance/consultation.html>）より申込みをしてください。

※お送りいただいた情報は、事前相談にのみ使用させていただきます。

■ 事前相談の対応可能期間

出願期間より前に行うようにしてください。

出願登録開始日から合否発表日までの期間は、事前相談を行うことができません。

また、夏期、冬期休業期間、土日祝祭日は受け付けできません。

※長期休業中にご連絡をいただいた場合、返信が遅くなることがあります。

③ 受験料 35,000円

受験料は以下の2つの支払い方法があります。インターネット出願をする際に選択してください。

1. 指定のコンビニエンスストアでの支払い
2. クレジットカードを利用して支払い

注）受験料のほかに事務手数料が別途かかります。一度納入された受験料は返金できません。

④ 試験当日の注意

■ キャンパス（対面）で受験する方

1. 自宅等で「受験票」を印刷し、試験当日に必ず持参してください。
2. 集合時間までに予め指定された控室に着席してください。出欠の確認をとり、受験上の注意を伝達します。集合時間に遅れると受験に支障をきたしかねませんので、十分注意してください。
3. 集合時間から50分以上経過した場合、原則受験することができません。不測の事態により、遅刻の恐れがある場合は、事前にお伝えする当日の緊急連絡先へ連絡をし、担当者の指示に従ってください。
4. 携帯電話、スマートフォン、PHS、アラーム付時計、ウェアラブル端末等電子機器の試験室内での使用は禁止です。
5. 試験当日、試験場付近や下車駅で下宿・アパート等の勧誘をしている場合がありますが、本学とは一切関係がないので注意してください。
6. 【学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項】
入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹等）に罹患し完治・治療していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。
ただし、症状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。
なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別処置および入学検定料の返還は行いません。

■ オンラインで受験する方

1. 事前接続テストと同じ環境で受験してください。（同じ部屋・パソコン等環境の確保）
2. 受験する本人の環境不備により、試験に不具合が生じた場合は、試験が認められない可能性があります。十分な準備をした上で、受験してください。
3. 試験中は、バーチャル（仮想）背景は使用しないでください。
4. 不正防止の為、試験中の様子は録画する場合がありますので、予めご了承ください。
5. 受験する環境（部屋）に、受験する本人以外の者が在室しないようにしてください。
6. 試験途中での入退室は出来ません。
7. 試験中、面接者が指示する以外のパソコン操作（インターネット検索等）は行わないでください。
8. 試験に利用するパソコン（スマートフォン）および筆記用具以外の不正行為につながる恐れのあるもの（電子機器等）は持ち込まないでください。
9. 試験内容の記録（録画や録音、メモ等）や、SNSでの発信等は行わないでください。
10. その他、不正行為に該当するような行為は行わないでください。
11. 試験当日、または後日、上記1～10に違反するような事案が判明した場合（SNSでの発信等を含む）には、合格した場合であっても不合格となる可能性があります。

※その他、オンライン面接に伴う事前準備事項および試験当日の諸注意事項については受験生サイト

(<https://admissions.obirin.ac.jp/admissions/online-interview/>) に公開している情報を別途確認してください。

⑤ 合否通知

1. インターネット出願サイトの個人ページにログインし、出願一覧から受験した選抜の選考結果を確認してください。
2. 合否については、上記の合否照会方法で確認してください。合否の理由等も含め電話やメールでの問い合わせには、一切回答できません。
3. 合否照会は合格発表日の10時から可能です。

⑥ 入学手続等（学納金の納入について）

1. 合格者のみ、入学手続きの案内が通知されます。納入期限までに入学金と秋学期分の授業料等を、銀行振込にて納入してください。振込依頼人は必ず受験番号+カナ氏名を入力してください。郵送および本学窓口での取り扱いはできませんので、注意してください。
2. 期限内に前項の納入金が無い場合は、入学の意志がないものとみなします。期限後の振り込みは一切受け付けません。
3. 入学手続締切日後、2週間以内、手続完了通知を送付いたします。振込控えは大切に保管してください。
4. 入学までに成績証明書、卒業・修了証明書の原本を提出してください。詳細は上記3の「手続完了通知」でお知らせします。

* 日本学生支援機構 大学院修士段階における「授業料後払い制度」については、P.14の内容を確認してください。

【入学辞退について】

やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、入学部インフォメーションセンター（TEL：042-797-1583）へ連絡し、所定の「入学辞退届」を取り寄せてください。受理された者に入学金を差し引いた納入金（返金の際の振り込み手数料除く）を返金します。いかなる理由でも入学金の返金はありません。入学辞退申請をする方は、以下の入学辞退申請期限までに手続を完了してください。

〔入学辞退申請期限〕

必要事項を記入した「入学辞退届」の必着期日：2025年8月29日（金）

※申請期限を過ぎた場合はいかなる理由においても入学辞退の受領および学納金の返還はできません。

※入学辞退の申請を完了した場合、いかなる理由においても入学辞退の申請を撤回することはできません。

■ 入学金 100,000 円

■ 施設設備費・授業料（全学位プログラム、通信教育課程 共通）

			1 年次	2 年次	3 年次
博士前期課程	秋学期	施設設備費	50,000 円	50,000 円	—
		授業料	600,000 円	600,000 円	—
		卒業諸費	—	50,000 円	—
	春学期	施設設備費	50,000 円	50,000 円	—
		授業料	600,000 円	600,000 円	—
	合計		1,300,000 円	1,350,000 円	—
博士後期課程	秋学期	施設設備費	50,000 円	50,000 円	50,000 円
		授業料	600,000 円	600,000 円	600,000 円
		卒業諸費	—	—	50,000 円
	春学期	施設設備費	50,000 円	50,000 円	50,000 円
		授業料	600,000 円	600,000 円	600,000 円
	合計		1,300,000 円	1,300,000 円	1,350,000 円

* 「入学金」について

2025年9月に桜美林大学、桜美林大学大学院、桜美林大学日本語文化学院を卒業・修了見込みの方は入学金が不要です。

その他の時期に卒業・修了した方の入学金は50,000円になります。

※年間最大32単位まで修得ができます

* 委託徴収金として、修了予定年次に卒業諸費（50,000円）を徴収します。秋学期入学生は、修了予定年次の秋学期に徴収します。

* 履修する科目によっては別途実習費等が必要となります。

* 国際学術研究科国際学術専攻博士前期課程 心理学実践研究学位プログラムのうち、ポジティブ心理分野において、専門健康心理士資格取得のための現場実習を履修する場合、別途費用が必要になります。

* 学納金は 2025 年 4 月 1 日現在のものであり、2026 年 4 月以降、変更となる場合があります。

変更になった際には、大学院ホームページ等でお知らせします。

※【日本学生支援機構 大学院修士段階における「授業料後払い制度」について】

2024 年度秋学期入学者から本格開始となる本制度について、桜美林大学大学院では本制度を利用する場合であっても、各学期の正規納入期日までに学納金全額を納入いただく必要があります。

各学期中に授業料相当額の支援である「授業料支援金」が、日本学生支援機構から学生本人名義の口座へ振込となります。

なお、予約採用で本制度の採用候補者になっても、「授業料支援金」を引いた金額での学納金納入※は行えません。

（※）学納金は授業料の他、施設設備費、教育充実費等を含みます。

授業料後払い制度の内容は、日本学生支援機構ホームページ（<https://www.jasso.go.jp/shogakuin/about/taiyo/atobarai/index.html>）からご確認ください。

奨学金制度・給付制度等

① 奨学金制度等

- 学而事人奨学金（減免）

P.16 を参照してください。

- 私費留学生奨学金（減免）

P.17 を参照してください。

- 独立行政法人日本学生支援機構奨学金（貸与）

本奨学金は貸与型で経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、学生本人名義で貸与されます。

- 地方公共団体・民間育英団体奨学金

募集は大学を通じて行うものと各団体が直接行うものがあります。

大学に募集案内があった場合は学内掲示板にてお知らせします。

- 桜美林大学提携教育ローン

- ① オリエントコーポレーション「学費サポートプラン」

株式会社オリエントコーポレーション提携の学納金・寮費を立替払いとする融資制度です。

- ② ジャックス「ジャックスの教育ローン」

株式会社ジャックス提携の入学金・学納金等と立替払いとする融資制度です。

- ③ 三井住友銀行提携教育ローン

三井住友銀行提携の一般の教育ローンより有利な条件を設定した融資制度です。

【奨学金制度等についての問い合わせ先】 学務部学生課（TEL：042-797-3128 受付 平日／9：00～17：00）

② 長期履修生制度・短期履修生制度について

長期履修生制度とは、職業を有している等の事情により留年や休学をすることなく、通常の修業年限（標準修業年限）を超えて計画的な履修を認める制度です。

博士前期課程の場合2年間、博士後期課程の場合は3年間で標準修業年限ですが、本制度の対象者として認められると、それを超えて在学する分の学納金が1学期あたり30,000円に軽減されます。

* 国際学術研究科 国際学術専攻 博士前期課程・博士後期課程におけるすべての学位プログラムが対象です。

一定の要件（実務経験、研究業績等）を満たす方を対象に、1年ないし1年と1セメスターで修了となる短期履修生制度があります。詳細は入学後にご案内します。

③ 学而事人奨学金

経済的理由で進学をあきらめざるを得ない者に対して、進学を提供します。
各学期の授業料を30%減免することで、最大4セメスターを支援する奨学金制度です。
減免となる資格は、学期ごとに継続可否の審査があります。

■ 申請方法

- ① 出願と同時に申請すること。出願期間外の申請はできません。
- ② 2025年度4月入学者選抜（Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅲ期B日程）および2025年度9月入学者選抜（Ⅳ期）にて募集します。

■ 対象学位プログラム

博士前期課程のすべての学位プログラム

■ 採用予定者数

1学年あたり8人

■ 奨学金の申請資格

下記の①～③は奨学生としての前提条件となりますので、必ず確認し、了解の上、出願してください。

- ① 日本国籍を有する者、または永住者、定住者、日本人（永住者）の配偶者とその子
- ② 本学大学院の出願資格を満たす者
- ③ 家計収入が以下の基準を満たすこと
 - 給与（年金）所得者 850万円未満（給与収入額）
 - 給与所得者以外 440万円未満（必要経費等差し引き後の金額）

■ 申請書類

- ① 「最新（令和5年中）の所得証明書」（市区町村役場が発行）（3か月以内に発行のもの）

※家計支持者が出願者本人である場合

未婚者………出願者本人の所得証明書

既婚者………出願者本人及び配偶者の所得証明書

※家計支持者が父母である場合

父母両方の所得証明書

- ② 本人及び家族全員の住民票（市区町村役場が発行）（3か月以内に発行のもの）

■ 奨学金の継続条件

学期ごとに継続審査を行います。条件は以下の通りです。

- ① 入学時からの通算GPAが3.0以上であること
※GPAとは、Grade Point Averageの略称で成績評価の平均値を示します（最高値は4.0）
- ② 学期ごとに大学が定めた累計修得単位数の基準を満たすこと
- ③ 各学期終了時に、修学状況報告書を提出すること
- ④ 上記継続条件を満たすことができなかった場合、翌学期の授業料減免は停止、停止2回目で、奨学生としての資格を失い、廃止となる

詳細は、入学試験に合格し、かつ奨学生として採用された後、メールにてお知らせします。

また、本奨学金給付の対象者にはならないが、アドミッションポリシーに叶う資質が確認できた者は、奨学金対象外の「合格者」とします。

④ 私費留学生奨学金

経済的理由により修学が困難な「留学」ビザを持つ私費外国人留学生を対象とし、各学期の授業料の30%を減免します。入学から修了までの標準修業年限以内の期間を支援する奨学金制度です。減免となる資格は、学期ごとに継続可否の審査があります。

■ 申請方法

- ① 出願と同時に申告すること。出願期間外での申請はできません。
- ② 2025年度4月入学者選抜（Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期）および2025年度9月入学者選抜（Ⅳ期）において募集します。

■ 対象学位プログラム

博士前期課程及び博士後期課程のすべての学位プログラム

■ 採用予定者数

1学年あたり24人

■ 奨学金の申請資格

下記の①～④は奨学生としての前提条件となりますので、必ず確認し、了解の上、出願してください。

- ① 「留学」の在留資格を有していること
（過去6か月の間に「留学」の在留資格を保有し、現在在留期間の更新手続中の者を含む）
- ② 仕送り金額（学納金分の金額を除く）が、平均月額90,000円以下であること
- ③ 在日している扶養者がいる場合は別途ご相談ください。
- ④ 学内外問わず、他から給付を受けている奨学金等の月額が100,000円未満であること。

■ 申請書類

経費支弁書〔様式03〕

■ 奨学金の継続条件

学期ごとに継続審査を行います。条件は以下の通りです。

- ① 入学時からの通算GPAが3.0以上であること
※GPAとは、Grade Point Averageの略称で成績評価の平均値を示します（最高値は4.0）
※博士後期課程の学生については、GPAによる継続審査はありません。
- ② 学期ごとに大学が定めた累計修得単位数の基準を満たすこと
- ③ 各学期終了時に、修学・生活状況報告書を提出すること
- ④ 上記継続条件を満たすことができなかった場合、翌学期の授業料減免は停止、また停止2回目で、奨学生としての資格を失い、廃止となる

詳細は、入学試験に合格し、かつ奨学生として採用された後、メールにてお知らせします。

また、本奨学金給付の対象者にはならないが、アドミッションポリシーに叶う資質が確認できた者は、奨学金対象外の「合格者」とします。

学生寮・住まい紹介

① 学生寮

入寮を希望する方は、本学 HP の「入寮申込について」の内容をご確認いただき、添付されている「入寮申込フォーム」より、申し込みしてください。https://www.obirin.ac.jp/campus_life/dorm_application.html

寮名		国際寮	
収容定員		203 名 (A タイプ 個室)	44 名 (C タイプ 二人部屋)
新規入居者数(目安)		100 人 (留学生 60 人)	22 人 (留学生 12 人)
食事		食事無し	食事無し
寮 費	春学期 (4月-7月)	240,000 円	150,000 円
	秋学期 (9-1月)	300,000 円	187,500 円
	入寮費 (入寮時のみ)	120,000 円	60,000 円
	退去時清掃費用 (入寮時のみ)	20,000 円	10,000 円
	管理費等	月額 10,000 円	月額 5,000 円
	その他	光熱水費・通信費 (LAN 回線) 月額平均 10,000 円を上限として寮費に含むものとし、超過分については別途請求させていただきます。	光熱水費・通信費 (LAN 回線) は月額平均 15,000 円 (一室) を上限として寮費に含むものとし、超過分については別途請求させていただきます。
連絡先		042-750-5564 (受付 平日/9:00~17:00)	
所在地		相模原市中央区淵野辺 3-5-41	
ホームページ		https://www.obirin.ac.jp/campus_life/dorm.html#a02	
アクセス		JR 横浜線淵野辺駅北口まで徒歩約 4 分 町田キャンパスへスクールバス約 8 分	

※寮費等は変更になる場合があります。(2025 年 3 月現在)

② 住まい紹介

● 桜美林パートナーズ株式会社
〒194-0213 東京都町田市常盤町 3654
8:45~17:00
(土日祝祭日、夏季・年末年始休業期間を除く)
TEL: 042-797-9944 FAX: 042-797-2046
URL: <https://www.narudo-sakurashop.co.jp>

● 桜美林学園消費生活協同組合 (免許証番号 東京都知事 (4) 第 80794 号)
〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758
TEL: 042-797-7600 (住まい関係専用電話、月~金/10:00~17:00)
TEL: 042-797-0543 (生協代表電話) FAX: 042-797-2652
E-mail: coop.ml@obirin-coop.or.jp URL: <http://www.univcoop.jp/obirin/>

③ 入学後の学生生活について

本学では、健康増進法や喫煙防止教育の推進等、各省庁や社会からの要望を受け、大学の学生並びに教職員の健康を増進するため、学内を全面禁酒・禁煙としています。

入学後の学生生活については、以下「学則」および「学生生活ガイド」の内容を必ず確認してください。なお、学則や学生生活上のルールは変更することがありますので、入学後改めて確認してください。

● 学則 https://www.obirin.ac.jp/campus_life/rules.html

● 学生生活ガイド https://www.obirin.ac.jp/campus_life/student_life_guide.html

主たる授業拠点について

博士前期課程	研究科	専攻	学位プログラム		主たる授業拠点
	国際学術研究科	国際学術専攻	言語教育実践研究学位プログラム		新宿キャンパス
			心理学実践研究学位プログラム		町田キャンパス
			経営学実践研究学位プログラム		新宿キャンパス
			大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム (通信教育課程) *スクーリング時		新宿キャンパス
			老年学学位プログラム		新宿キャンパス

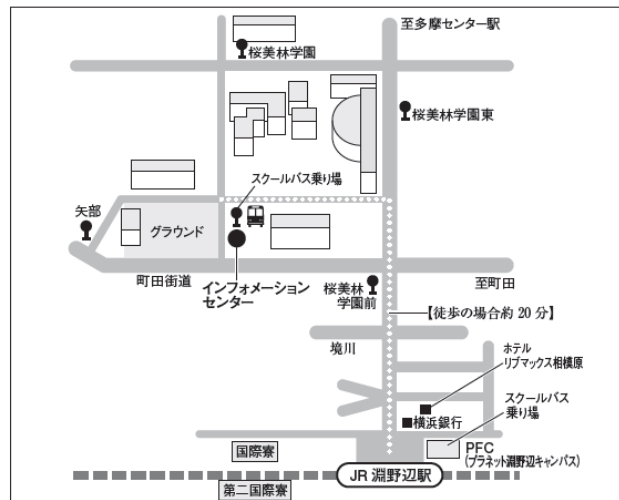
博士後期課程	研究科	専攻	学位プログラム		主たる授業拠点
	国際学術研究科	国際学術専攻	国際学術研究学位プログラム	経営学研究領域	新宿キャンパス
				心理学研究領域	町田キャンパス
			老年学学位プログラム		新宿キャンパス

(2025年3月現在)



桜美林学園は、2021年に創立100周年を迎えました。

町田キャンパス



■所在地／〒194-0294 東京都町田市常盤町3758
TEL：042-797-1583

■交通／〈スクールバス〉 JR横浜線「淵野辺駅」北口よりバス約8分
〈路線バス〉 JR横浜線「淵野辺駅」北口より神奈中バス「町田バスセンター行」または「小山田桜台行」で約8分「桜美林学園前」下車。

新宿キャンパス



■所在地／〒169-0073 東京都新宿区百人町3丁目23-1番

■交通／JR中央・総武線「大久保駅」北口より徒歩約6分
JR山手線「新大久保駅」より徒歩約8分

 **桜美林大学**
J. F. Oberlin University

桜美林大学 入学部

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758

E-mail：admssn2@obirin.ac.jp

推薦書

桜 美 林 大 学 長 殿
桜美林大学 大学院 長 殿

年 月 日

機 関 名
職 位
氏 名
所 在 地

印

電 話 — —

桜美林大学大学院 博士前期課程 国際学術研究科 国際学術専攻
大学アドミニストレーション実践研究学位プログラム(通信教育課程)の入学志願者

_____ を下記の理由により推薦します。

推薦理由

※職場の所属長による推薦書であること。

本書を作成される方へ

- ①志願者を客観的に評価していただける方に作成をお願いするものです。
- ②1.及び2.についてはPC 入力で作成していただいても差し支えありません。
- ③「評価者氏名」欄に限っては、必ず直筆をお願いします。また押印もあわせてお願いします。

【志願者評価書】

志願者氏名

1. どのような立場で、どのくらいの期間、志願者を知っていますか。

2. 志願者の能力・人物について、あなたの意見や評価する特記事項など具体的に書いてください。

[illegible]

【記入日】 西暦 20 年 月 日

【評価者氏名】



経費支弁書

桜美林大学長 殿

桜美林大学大学院長 殿

【申請者】

氏名: _____

国籍: _____

生年月日: _____年 _____月 _____日

【経費支弁者】

住所: 〒 _____

氏名（署名）: _____ 英字氏名: _____

申請者との関係: _____ 電話番号: _____

記入日: (西暦) _____年 _____月 _____日

私は、このたび上記申請者が日本国に入国した際および貴大学大学院在学中の経費支弁者になりましたので、以下の通り経費支弁を引き受けた経緯を説明するとともに、経費支弁について誓約します。

1・経費支弁を引き受けた経緯

(申請者の経費支弁を引き受けた経緯および申請者との関係について具体的に記載してください。)

2・経費支弁内容

私は、申請者の日本国滞在について、以下のとおり経費を支弁することを証明します。また、申請者が在留期間更新許可申請を行う際には、送金証明書または本人名義の預金通帳（送金事実、経費支弁事実が記載されたもの）の写し等で、生活費等の支弁事実を明らかにする書類を提出します。

経費の支弁方法等（合計金額が学納金、生活費等を十分賄える金額となるように記入してください。）

支出元および月平均支弁額 ※該当する項目の□に✓を入れてください。	支弁方法
☐ 申請者 () 円/月	
☐ 経費支弁者 () 円/月 うち 生活費 () 円/月	☐ 振込 ☐ 携行 ☐ 海外送金等
☐ その他 () 円/月	☐ 振込 ☐ 携行 ☐ 海外送金等
☐ 奨学金 () 円/月	☐ 振込 ☐ 携行 ☐ 海外送金等
(奨学金受給機関名) ※該当する項目の□に✓を入れてください。	
☐ 外国政府 ☐ 日本国政府 ☐ 地方公共団体 ()	
☐ 公益社団法人または公益財団法人 () ☐ その他 ()	